

平成13年10月17日

各 位

会 社 名 石原産業株式会社
コード番号 4028
問合せ先 専務取締役
大 平 政 司
TEL (06) 6444 1451

IKI - 220に関するFMC社との販売提携の件

石原産業（代表取締役社長 溝井正彦）は、同社が開発中の新規殺虫剤「IKI - 220」（開発コード）の米州（除く、アルゼンチン、ウルガイ、パラガイ、ボリビア）における開発、販売について米国のFMCコーポレーション（総本社はシカゴ、農薬事業はフィラデルフィア）と提携することで合意に達し、契約に調印した。

石原産業はコア事業となっている農薬ビジネスを21世紀の最初の10年間で業容を600億円に倍増する“第二次成長期”に挑戦中であるが、そのベースを研究、開発、登録、製造にリソースを集中させ、海外市場での販売は既存提携関係を良好に維持しながら、欧州を中心として独立した現地農薬会社と密接な関係を構築して自主推進体制の再構築を図りつつある。

石原産業はこの10年間に除草剤2件、殺菌剤2件、殺虫剤1件、殺線虫剤1件を国内外の主要市場において開発・登録を独力で行い、海外の主要国における販売、マーケティングはマルチナショナル企業と提携して順調にビジネスの拡大を図って来た。今後もこれらのパートナーとの関係を良好に保ちつつ、一方では、新規開発剤については、剤毎にその特性を見極めた上で販売、マーケティングの新たな提携関係の構築を図ることにしている。提携先としては、互いに信頼し合え、経営理念を同じくし研究開発力のあるパートナーとの提携といった新たな戦略を指向して行く。自らの剤の運命に自らの意思を反映できることが、21世紀にこの分野で勝ち残るために不可欠であると考えられている。

FMC社は殺虫剤とスペシャリティー分野（非農業分野）に特化して特徴ある事業を展開しており、同社と提携して主として米州においてIKI - 220を

事業化することを決定した。I K I - 2 2 0 は棉、ポテト、野菜、果樹（核果類、梨果類、柑橘）および観葉植物等遺伝子組替作物（G M O）を含む広汎な作物に対して卓越した適合性を持っており、既にピレスロイド系およびカーバメイト系殺虫剤で強力な市場基盤を築いているF M C社との提携がこの剤の特性を発揮させる上で最も好ましいと石原産業は判断した。

I K I - 2 2 0 はトリフルオロメチルニコチル・アמיד系殺虫剤であり、特異的に吸汁害虫に作用し、特にアブラムシ防除薬剤として優れた新規な殺虫剤である。本剤はユニークな作用機作を持ち、他剤との交差抵抗性も認められず、抵抗性管理プログラムにおいて重要な新しい手段になるものと期待される。

本剤は吸汁性害虫の摂食活動を即効的に阻害し、運動能力を低下させることで致死させ、低薬量で浸透移行性、残効性に優れている。一方、天敵など有用昆虫に対する影響が少なく生物農薬との体系防除技術にも大きく貢献できると考えている。

日本、欧州では来年を目処に登録申請を行い、引続き世界の主要国で登録申請を行う予定であり、成熟期の世界市場における年間売上を70億円と見込んでいる。

石原産業ではこの新規殺虫剤I K I - 2 2 0 に次いで、複数の新規剤の開発候補剤を既に手中にしており、極めて近い内に本格開発の軌道に乗せる予定である。

以 上